

秋の新所沢幼稚園

石山の側にある「はなみずき」がいち早く
赤く色づき 二本の大きな桜の木がハラハラと
散りはじめています。紅葉しないうまの葉、は。さびしい
柿の実が例年に比べると数が少ない。その赤い
実を鳥たちがついでに食べています。昨日は鳥
達に負けじと私たちも柿むぎをしました。

そして1個づつお土産に子どもたちも大喜び。
秋の味覚(新所幼の)“てんぷらぶりぶり”
“とうがんのおみそ汁”も美味しくいただきました。

コロナウィルスに翻弄された1年半。変則プログラムで
行われた運動会、秋のおまつりバザーはなくなり
時代と共に変化していくのも分るけど……子どもたち
今だからこそやれる事をやろうと毎日生活に
むきあっているけれど やはり何か変なのこの頃。あーあ
いやだいやだ どうしてこういう憂鬱になるのでしょう。
この秋も自然災害に翻弄されている私たちの星地球
あちこちから「助けてー」という声が聞こえてくるようです

こんな気持ちになるのも秋という季節のせいかな？
今 留守番中のAKIKOです。国内から子どもの気配が
消えています。だって今日は「こつまははらだらら。
秋の味覚 さつまいも 今年の秋は立派なおいもが
できました。チャレチャレ。

そこに右ページのお便りが届きました。11月2日に
ふきとびました。ふきさんからの手紙に
幼稚園時代のかわいささんがうかんできました。
そのまゝのせりふいすわ。

園長通信
しんとこのつる
ふきさん
あきこ

アベノ橋を渡りながら
ふきさん
あきこ

私は新所沢幼稚園を40年近く前に卒業
いたしました。[] []と申します。

一度大人になってから昭子先生にお会いする
機会があり幼稚園にもお邪魔しましたが、
その時から。20年の月日が経ってしまいました。
昭子先生の「園長通信」をととても嬉しく
拝見しています。とお伝えしたくてお手紙を
いたします。ありがとうございます。後日

私は今、[]にある保育園に勤めています。
主任保育士として「園だより」を作っていますが、

もっと保護者に興味を持って読んでもらうに
は…と考えてインターネットでいろいろ園の
お便りを見ていました。そして見つけた昭子先生
の園長通信。00手描きのカットや文字が
とてもすてきで「バックナンバーもたくさん読み
ました。1年ぶりの新刊のムクドリの話には
笑ってしまいました。私が園児だった40年前、
昭子先生が「メがネに鳥のフンが落ちて
きた話」をしてくださったこと覚えています。

また、新しいお便りを楽しみにしております。
空気が昔に戻り、「しんとこの風が吹いてくる
気がします。後日

→ しんとこの風がふにもあったんだね

良い保育をしたいと思うとき、いつも思い出す
のは自分の幼稚園時代です。

まさに、今の自分を支えているのは子ども時代
の私自身ということを実感しています。

覚えてる
あきこの事。

すぐにうかん
あきこの書
きか…覚えてる?

「すいどうのおはら」

すいどうだいた
おとがした

「ふーふー」
おとがしたよ

さいしび、しり
きりきりしり……

すいどうとめたら
おとが

しりきりしたよ
たんのおと?

なんか
ラッパのおと

すいどうの
あきこのおと

うふふふ。
あきこのおと

きいりった

うれいお便りでした。
新所幼に園児いる。

人々余りお便り。
バザーのイベント

覚えてるという声もあつた
きり。